

鹿行地区年末年始無災害運動を展開

運動期間の初日に団体を訪問し直接要請を行う

鹿嶋労働基準監督署（署長 小室 順）では、年末年始の繁忙期における労働災害防止対策を徹底し、だれもが明るい新年を迎えられるよう、「鹿行地区年末年始無災害運動（期間 12 月 1 日より 1 月 31 日）」を展開しています。

管内（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市及び銚田市）における休業 4 日以上の労働災害は、平成 28 年 10 月末現在で 207 件発生しており、前年同期と比べ 9 件（4％）の減少となっています。しかし、死亡災害により 11 月 30 日現在で 6 名（前年同期は 4 名）もの尊い人命が失われおり、前年と比べ死亡災害が大幅に増加しています。

無災害運動の初日にあたる 12 月 1 日には、管内の労働災害防止団体を署長、安全衛生課長及び安全専門官が直接訪問し、団体の代表者に対し要請文書を手交しました。

年末年始期は普段とは異なる作業が増加することから、それらの災害を防止するため「年末年始期における自主的安全パトロールの実施、大掃除、機械の停止・再稼働等の非定常作業における安全確保の徹底、交通労働災害防止対策の推進」を呼びかけました。



（一社）鹿嶋労働基準協会への要請の様子



東部コンビナート保対協への要請の様子



建災防鹿島分会への要請の様子



港湾劣災防止協会への要請の様子



建災防潮来・銚田分会への要請の様子